

「与謝野町地域公共交通計画（案）」に係る意見募集結果

1 募集期間

令和6年1月29日（月曜日）から令和6年2月22日（木曜日）まで

2 意見募集の結果

延べ件数 13 件

意見提出者数 4 名

3 御意見の要旨とそれに対する考え方

項目	御意見の要旨	考え方
全般	<p>私は幼少期より視力の矯正の出来ない眼病を患い自動車運転免許を取得することが出来ず公共交通には大変お世話になっております。私は便利な所に住んでおりそれ程不便を感じず過ごしております。</p> <p>しかし、昨年10月の公共交通計画の見直しにより、コミュニティバス、乗合交通の運行時刻が路線バスとの乗り継ぎを考えられていないと思います。</p> <p>公共交通の利用者は運転免許のない人です。庁内市街地への買い物もですが、府立医大北部医療センター、与謝野町国保診療所等への通院が出来やすいよう路線バスとの乗継ぎがスムーズに出来るよう考えて頂きたいです。</p> <p>それと乗合交通については山田、石川、岩屋・幾地、桑飼地域の方だけでなく市街地A・Bの人でも利用できるので、時刻表が分かりやすくアプリにより別紙を作り、アプリの利用できない人に渡しています。（近所の人）私もこれを作り初めてよく分かりましたが、1台に3人しか乗れないので、利用が増えるとどうなるのか心配もあります。「誰もが利用しやすい持続可能な公共交通」をどうぞよろしくお願いします。</p>	<p>・支線系統として位置づけているコミュニティバス及び乗合交通については、幹線系統である路線バスへの乗継を一定考慮したダイヤ設定としております。ただし、各交通手段において便数が限られているため、ご利用いただく時間帯やエリアによってはご満足いただけるダイヤとなっていない場合もございます。その際は、タクシーなど別の交通手段もご検討いただきますようお願いいたします。</p> <p>・乗合交通の時刻表について、更新の際に分かりやすい内容となるよう改善を図ります。</p> <p>・令和6年1月末現在の乗合交通の運行実績では、1便あたり1.4人の方にご利用いただいています。今後利用が増加し、予約できない状況がある場合は運行方法の改善に努めます。</p>
全般	<p>旧加悦町在住の独居老人として目標実現に向けての施策として以下を要望。</p> <p>・コミュニティバスの回数券購入方法の簡素化</p>	<p>・コミュニティバスの回数券購入方法は、役場窓口または丹後海陸交通本社窓口での販売となっています。運転手からの購入は現在休止とし</p>

全般	<p>・「基幹的な交通」として位置づけられている丹海バスが、路線バスと高速バスの乗り継ぎが可能であること。(現在は一部のみ) 丹鉄と丹海路線バスも。</p>	<p>ており、ご不便をお掛けしますが、役場窓口または丹後海陸交通本社窓口でのお買い求めをお願いします。</p> <p>・「基幹的な交通」として位置づけられている高速バスについては、丹海バス本社を路線バスとの交通結節点として設定しています。路線バスの運行ダイヤは通勤・通学や買い物、通院など地域利用を念頭に設定されており、すべての便での乗り継ぎを実現することは困難な状況にあります。今後においては、出来得る限り交通結節点での乗り継ぎ改善が図れるようダイヤ調整など対応に努めます。</p>
P1 1-1 計画策定の背景と趣旨	<p>民間事業者による輸送サービスの主な利用者について、高校生も追加していただきたい。</p>	<p>文言を追加します。</p>
P2-2 与謝野町内の移動状況	<p>図 2-5、図 2-6 の出典を明記いただきたい</p>	<p>グラフの差し替えと出典元を明記します。</p>
P12 ア 鉄道駅の位置等	<p>駅東側のサイクリングロードについて、「旧加悦鉄道敷を活用した」を追加していただきたい。</p>	<p>文言を追加します。</p>
P14 2-3 公共交通機関の状況	<p>「(6) 医療機関が運行する総送迎バスの運行状況」→「(6) 医療機関が運行する送迎バスの運行状況」だと思います。</p> <p>また、京丹後市ではスクールバスに一般住民も乗れる仕組みになっているので、「(7) スクールバスの運行状況」を加えていただきたい。</p> <p>また、教習所の送迎車両も活用できると思われるので、「(8) 教習所の送迎車両の運行状況」を加えていただきたい。</p>	<p>・(6) の医療機関が運行する送迎バスについて、公共交通の位置づけではないため文言を削除します。</p> <p>・(7) (8) スクールバスや教習所の送迎車両についても対象者の方以外に一般住民も乗車できる混乗は行っていないことから公共交通の位置づけではないとして文言は追加しません。</p>
P19 ア 丹後海陸交通バス	<p>グラフを路線別にしていただき、路線ごとの負担額が分かるようにしていただきたい</p>	<p>グラフを修正します。</p>
P20 イ 町営バス(コミュニティバスひまわり)	<p>「…支援があったことによる<u>町</u>負担が減少する等…」→「…支援があったことにより町負担が減少する等…」だと思います。</p>	<p>文言を修正します。</p>

P34 方策 1-4 積極的な情報発信とタイアップ事業の実施	旧加悦町在住の独居老人として目標実現に向けての施策として以下を要望。 ・広報の工夫。公共交通を使用することを住民がシミレーションする学習の機会を設ける。	方策 1-4「公共交通を利用した事業の企画・運営」に係る取組の実施のほか、方策 2-1 での乗り方教室・お試し乗車会の開催を目標としており、関係する組織、団体等と協力して実施予定です。
P35 方策 2-1 幅広い年齢層へ向けた公共交通の乗り方教室やお試し乗車会等の実施	具体的に自分自身の乗車案を作成する機会を既存の組織・団体等と連携・協力して行う。	
P37 (3) 各項目の現況と目標値	バスだけでなく、鉄道（与謝野駅の乗降者数等）についても目標値を定めていただきたい。	本計画については幹線的な交通、支線的な交通と町内の移動における交通手段についての目標を定めております。基幹的な交通の役割である鉄道については広域の沿線自治体で取り組むべき課題として、「京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画」で目標を設定して、沿線自治体と連携することで対応します。
その他	本町内に所在する高校の生徒を対象としたアンケート調査において、通学は「自家用車による送迎」が最も多いとあるが、中学生の通学の実態も調べて欲しいです。自転車通学を基本とする地域であっても自家用車による送迎をされる家庭が存在すると聞いています。時代の変化により長距離の自転車運転を負担と感じたり危険と感じたりする家庭があること、進学にあたり新しい自転車を購入しなくてはならない経済的負担や不公平を感じる家庭があるかも知れません。中学生もバス等で通学できる選択肢を用意することを検討していただきたいです。	いただいたご意見につきましては、教育委員会にも展開し、今後の通学環境を考える上の参考意見として申し伝えます。